

ルダムに會議を開いた。英國、白耳義、丁林、和蘭、諾威、佛蘭西及独逸の海員団体は、此會議に代表者を出したのである。同會議は各國に於ける海員の一般状態及地位、海員の要求及實現方法並其可能性を討議した。而して海員の失業に關する決議を採擇し、中央及南部歐羅巴に於ける政局の不安定より生ずる危險、交換の不安定、商船投資の過剩、非歐羅巴人種の海員の雇用、及貨銀低下より自働的に生ずる生産の減退並に需要減退を生ずる生産の減退に對して、關係労働者の注意を喚起したのである。右決議は、失業状態は在り商業の復興するまで消滅する能はざること並に賠償問題の現在の所を諸りは批評的の回復すらも妨ぐる旨を述べたものである。

五、國際基督教労働組合聯合會

國際基督教労働組合聯合會本部は、十月十九日及二十日、バールに於て會議を開き、和蘭の改州改造委員を招待して一定の他の國際団体と共に委員會を設立し、以て賠償問題に關して關係政府の意見一致し得る経済的基礎点を発見せんことを努むる専門家委員會の招集を促進す可きことを決議した。同本部は該委員會の報告を労働組合の見地から倒れたる調査を為す意向を有するのである。

六、國際基督教金屬労働組合聯合會

國際基督教金屬労働組合聯合會にては、本部員と各加盟団体の代表者とが相寄り、十月二十三日より二十六日まで、ストットガルトに於て會議を開き、伊太利の代表を除く以外の全部の代表が出